

夏秋小ギクの開花抑制に最適な赤色光の電照時間帯

福島県農業総合センター 作物園芸部花き科

1 部門名

花き一キー開花調節

2 担当者

鈴木安和、高田真美、矢島豊

3 要旨

白熱電球の製造中止の動きが進む中、新たな開花調節技術の開発が必要となっている。新たな開花調節技術として LED の研究が進められており、発芽を遅らせるのに効果の高いのは赤色光であることが明らかとなりつつある。その赤色光を利用して、より効果の高い電照時間帯を明らかとした。電照による開花抑制効果がある夏秋小ギクでは、赤色光照射による開花抑制効果の高い電照時間帯は、日没後に暗期が 5 時間以上経過した後の早朝電照(日の出前 4 時間電照)であることが明らかとなった。

- (1) 8 月咲き小ギク‘きりん’の赤色光の照射時間帯の違いによる切り花率の推移から、開花抑制効果は、日の出前 4h 電照>暗期中斷区>日没後 4h 電照区の順で高かった(図 1)。
- (2) 9 月咲き小ギク‘松子’の赤色光の照射時間帯の違いによる切り花率の推移をみると、切り花抑制効果は、日の出前 4h 電照>暗期中斷=日没後 4h 電照区となつた (図 1)

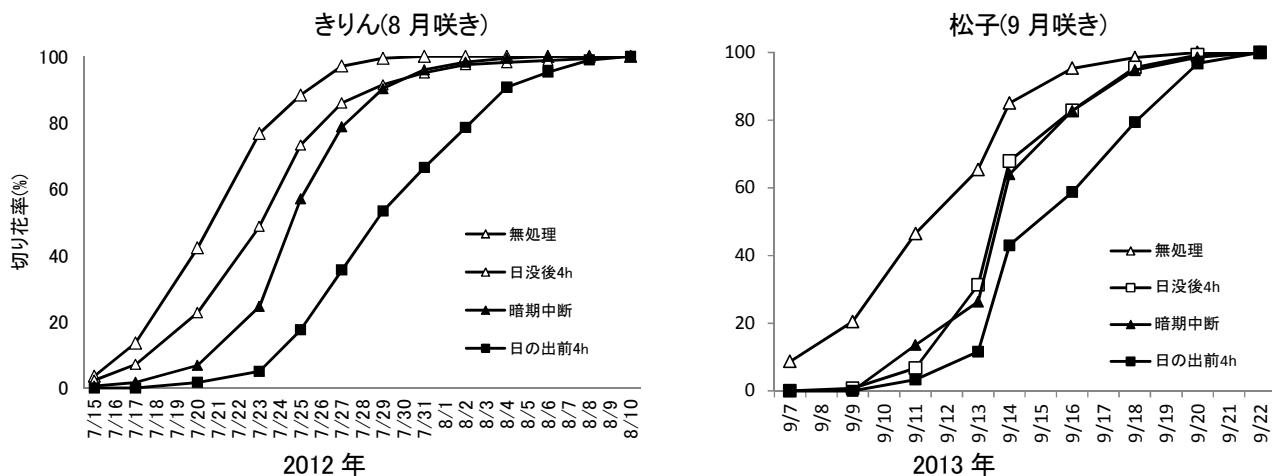


図 1 電照方法と切り花率の時期別推移

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成 24 年度～25 年度
- (2) 研究課題名 地域の特色のある花き生産技術の確立
- (3) 参考となる成果の区分 (指導参考)

5 主な参考文献・資料

- (1) 平成 24 年度～25 年度センター試験成績概要
- (2) 園芸学会平成 25 年度春季大会研究発表要旨 p195